

事業評価調書〔新規要求公共事業〕

<様式1>

評価対象事業名	社会資本整備総合交付金		
長崎県総合計画上の位置づけ	柱	3	夢や希望のあるまち、持続可能な地域を創る
	基本戦略	2	地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てる街を創る
	施策	(1)	人流・物流を支える交通ネットワークの確立
	事業群	③	生活に密着した道路の整備による道路ネットワークの拡充

作成年月日	令和 7 年 12 月 19 日		
事業所管	土木 地方道	部 班	道路建設 (内線) 5503 課
課(室)長名	平 博敏		

1. 事業の概要

事業概要	<事業の主な実施内容> 県が管理する国道・県道のうち、国庫補助事業(国の補助事業を受けて行う事業)の採択基準に適合し、整備が必要な箇所のなかで優先順位が高い工区の道路改築を行うもの。			
	<国の主な採択基準> 交通の安全の確保とその円滑化、経済基盤の強化、生活環境の保全、都市環境の改善及び国土の保全と開発並びに住生活の安定の確保及び向上を図ることを目的とした事業。 道路事業(一般国道、都道府県道又は市町村道の新設、改築、修繕等に関する事業)			
	<負担区分(%)>		<県費の継ぎ足し>	
	国	県	地元	条件
	58.0	42.0	0	(本土)非重点
	63.8	36.2	0	(本土)重点
	69.6	30.4	0	(離島)

☐有 ☒無

3. 新規要求箇所

no.	事業箇所名	市町村名
1	一般県道雲仙有家線(西有家工区)	南島原市
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

2. 新規要求における事業評価の視点

事業評価の視点	長崎県道づくり基本方針に基づき、高規格道路の重点整備と県民生活に密着した道路の計画的な整備を行っていくにあたり、取り組むべき5つの方針(1.産業を支える道路ネットワークづくり、2.交流人口を拡大する道路ネットワークづくり、3.安全・安心で快適な道づくり、4.人口減少に対応し、持続可能な社会を支える道づくり、5.魅力ある道路環境づくり)を踏まえ、事業評価を行う。 さらに、①費用便益②産業・観光との位置づけ③緊急輸送道路の位置づけ④歩行者の安全確保⑤整備前の混雑状況⑥事業性⑦経済性等から、新規事業化への優先順位を決定している。
---------	---

令和7年度経済対策補正新規要求箇所評価調書(社会資本整備総合交付金)

(ふりがな) 事業箇所名	市町村 名	事業 主体	事業 完了 予定 年度	事業概要 (上段:全体、下段:R8)	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R7経済対策補正)					新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等		総合 評価
					事業費	国費	県費		市町村費等				
							県債	一般財源					
いっばんけんどううんぜん 一般県道雲仙 ありえせん(にしありえ 有家線(西有 こう) 家工区)	南島原 市	県	R17	計画延長L=1.7km、幅員 W=7.0(10.5)mのバイパス工 事を行う。	6,500,000	3,770,000	2,457,000	273,000		当該地区は南島原市の中心拠点地区と して、コンパクトで利便性の高い居住エ リアづくりを目指している。また、商業・ 業務等の様々な都市機能の集積が図ら れている。 このため、周辺道路では、朝夕の通勤時 間帯を中心に交通渋滞が発生し、交通事 故也多発しており、定時性・速達性に支 障をきたしている。地域の自動車交通の 調査を実施した結果、南部から(国) 251号と(一)雲仙有家線を北側へ向か う車両が多いことが判明した。 当該区間を整備することにより、幹線道 路である(国)251号の交通負荷を分散 し、定時性・速達性の確保を図り、交通事 故の発生を抑制し、地域交通の安全を確 保し中心拠点としての更なる活性化に つなげるとともに、救急医療施設へのア クセス性の強化や原城などの周辺観光 地への交流促進を図る。	R7.7南島原市長要望	A	
				測量・設計を行う	20,000	11,600	7,560	840					
合計					6,500,000	3,770,000	2,457,000	273,000	0				
					20,000	11,600	7,560	840	0				